

幸消防団だより

第66号

令和4年8月発行
川崎市幸消防団
団長 高橋 克明
広報委員会編集

団長挨拶

幸消防団 団長 高橋 克明



幸消防団長の高橋克明でございます。4月に飯田署長が就任され、消防署は新しい体制となり、はや4か月が経ちました。引き続き消防団は消防署と一致団結して消防活動に励み、地域防災に万全を期して準備、活動をして参りたいと思っております。

ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の皆様に消防団としての活動を御覧いただく主な機会となります幸消防団ポンプ操法大会の開催は見送り、また消防出初式は縮小開催という形が続いております。そのような中ですが、去る令和4年7月27日(水)、第54回神奈川県消防操法大会が開催され、川崎市を代表して幸消防団第2分団が出場いたしました。出場した選手は消防団の基礎となる操法に鋭意取り組んだ成果が今後の消防団活動に活かされることと期待しているところです。またその選手達を支えた団員、家族の皆様には大変な御苦勞をお掛けしましたが、御理解をいただいたことに深く感謝を申し上げます。

今年度に入り幸消防団では、水防訓練や解体中建物を活用した訓練など、各種訓練を計画的に継続して実施しております。今後も複雑化する災害に対応するため、団員育成を進め消防力の維持向上に努めて参ります。一方で、消防団員数の減少について懸念しているところございまして、地域を一緒に守る仲間を募ることは、継続した課題でありますので、広報活動にも力を入れ進めて参ります。結びに、私達、幸消防団は安全な住みよい街を目指して団員一丸となり、訓練を積み重ね消防防災に全力で取り組むことを誓いまして挨拶とさせていただきます。

署長就任あいさつ

幸消防署 署長 飯田 康行



令和4年4月1日付け人事異動により、第23代幸消防署長に就任しました飯田康行でございます。幸消防署勤務は、庶務係長、予防課長を経験させていただき、今回で3回目となります。当時も消防団や地域の皆様と一緒に地域の安全安心の確立に向け勤務させていただいたところではございますが、深い御縁により、再び幸消防署に戻ってこられたものだと思っておりますので、気持ちを新たに強い使命感を持って任務に当たって参る所存です。

幸消防団は、高橋克明団長を中心としまして消防団活動は元より団員相互の団結力が非常に強固な消防団であります。消防団員の皆様には平素から地域の安全を守るために昼夜を問わず献身的に活動いただきますことに、改めましてお礼を申し上げますとともに、消防団をサポートする御家族、地域の皆様につきましても心から感謝を申し上げるところでございます。

さて、令和元年から続きます新型コロナウイルス感染症の影響により、消防署においても救急活動の繁忙を筆頭に感染対策に多くの時間を費やしながら任務を遂行している現状ですが、職員一同一致団結しながら、感染対策にも十分留意し、消防力の維持に努めております。消防団員、地域の皆様におきましても、引き続き感染対策に御留意いただきたいと思います。

結びに幸消防団の皆様の御活躍を祈念致しますとともに、今年度も消防署の活動への御理解と御協力をお願い申し上げまして就任のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

第54回神奈川県消防操法大会に川崎市代表として幸消防団第2分団が出場し、優良賞を受賞しました。



指揮者鈴木班長、1番員吉岡班長、2番員内山団員、3番員矢島部長、補員沼澤副分団長（左から）

コロナ禍の影響で区、市操法大会が中止となる中で神奈川県操法大会の開催が決まり、輪番で川崎市代表として第2分団が十年ぶりに出場することになり、4月から約4ヶ月の長い期間、出場選手とサポート団員が一つの目標に向かって日々訓練を重ねて来ました。その中で団結力の高まりを強く感じました。大会は第2分団一丸となり訓練の成果を発揮して参りました。

また、高橋団長及び本団員の方々、各分団の皆様、飯田署長をはじめ署員の皆様、そして2分団員の家族の皆様、OBの方々には支援や応援等、多大なご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

第2分団長 吉岡 雅之



団員紹介

地域の皆様と一緒に街を守る幸消防団に仲間が増えました！

第2分団 嶋 凌汰（令和2年5月入団）  火災の現場や災害に遭遇した時、何か力になりたいと思い、消防団に入りました。地域の安全、消防のために、尽力します。	第4分団 加藤 孝明（令和2年5月入団）  東京消防庁の職員だった父の影響と、頻発化・激甚化している自然災害から地域の安心・安全な暮らしを守りたいとの思いから入団しました。
第3分団 那須野 純花（令和2年6月入団）  消防団では地域に関心を持つ機会も増え、大きな家族のような存在にも感じています。団員として困った方に寄り添っていきたいです。	第4分団 小林 正行（令和2年6月入団）  定年を機に地元のお役に立ちたいと思い入団しました。応急手当指導員の資格を活かして、地域住民への普及活動をしたいと思います。
本 団 岩岡 直人（令和3年2月入団）  機能別消防団という新しい制度が発足したことを知り、入団を決意致しました。基本団員の皆様を後押し出来ますよう努めて参ります。	第2分団 高橋 桃（令和3年3月入団）  私は救急隊を目指し入団しました。実際の消防士の方々との交流や、消防団では訓練を体験できるのでとてもやりがいがあります。

第1分団 池田 直亮 (令和3年4月入団)  地域の安全に少しでも貢献できるよう、微力ながら高い意識を持って頑張っていきたいと思います。	第1分団 柴田 将太 (令和3年4月入団)  家族と住む地域が少しでも安心安全に住めるようにするため、皆さんと協力して活動していきます。
第4分団 大橋 剛志 (令和3年4月入団)  自分が生まれ育った地域の方が安心安全に暮らしていただけるよう、自分なりに少しでも力になりたいと思い消防団に入団しました。	第2分団 小山 飛鷹 (令和3年5月入団)  新人消防団員の小山です。団員の方達と協力し、色々な場で若さと体力を武器に頑張っていきたいと思います。
第4分団 出町 俊雄 (令和3年5月入団)  団員経験のある会社の同僚から話を聞き、地域貢献が出来て、色々な方とも出会える良い機会だと思い入団を決めました。	第2分団 大橋 雅也 (令和3年7月入団)  幸第2分団の大橋雅也です。訓練で教えていただいた事を活かして少しでも人助けが出来るように頑張ります！
第3分団 花久 海成 (令和3年9月入団)  消防団としての抱負は育ってきた地域に対しての恩返しと貢献、そして若い世代に地域を守る消防団の存在を知ってもらうことです。	第2分団 大貫 英稔 (令和3年11月入団)  昨年11月に入団した大貫英稔です！いつ大きな災害が発生するか分からないので、地域の人達のためにも一生懸命頑張ります！
第3分団 中塚 央行 (令和3年12月入団)  街のために訓練に励み地域住民の安全確保に努め、皆様に愛される消防団員になれるように地域貢献活動を行いたいと思います。	第4分団 小野寺 優斗 (令和3年12月入団)  将来、消防で働きたいと思い少しでも消防のことを学ぶために入団しました。知らないことをたくさん学ぶことが出来、とても楽しいです。
第1分団 玉置 美由樹 (令和4年1月入団)  災害時に実際に避難した経験があり、高齢者の避難が問題になると実感。生まれも育ちも川崎市幸区。地域貢献出来るように努めます！	第3分団 佐々木 勝美 (令和4年1月入団)  縁があり約50年振りに故郷の幸区に戻ってきました。色々な知識を得たり、地域のために活動することにやりがいを感じています。
本 団 床枝 勝幸 (令和4年4月入団)  第1分団を退団し、本団機能別団員として入団いたしました。地域の安全・安心に貢献出来ますよう頑張ります。	第4分団 濱野 怜 (令和4年5月入団)  友達を消防団の方に助けて頂いたことをきっかけに、自分も消防団そして地域に恩返しをしたいと思い入団しました。

第 1 分団 小松 孝芳（令和 4 年 6 月入団）



消防団活動を通じて、地域交流や社会貢献をしたいと思い入団しました。不慣れなことも多いので、御指導よろしくお願いします。

第 1 分団 畑 祐子（令和 4 年 8 月入団）



この地に引っ越してきて 10 年余りが経ち、地域の為に役に立ちたいと思うようになり入団させて頂きました。よろしくお願い致します。

写真とコメントにより御紹介しましたほか、次の 3 名が入団しています。

第 1 分団 佐藤 安広（平成 30 年 7 月入団）、第 4 分団 武田 亮（令和 3 年 11 月入団）、

第 4 分団 小倉 英光（令和 4 年 8 月入団）

よろしくお願いします。新入団員の皆さん一緒に頑張りましょう！！

令和 4 年春 叙勲
瑞宝単光章 受章
元本団副団長
上田 常晴 様



消防団
三原則
一、隣保共助
二、郷土愛護
三、犠牲奉公

令和 4 年度幸消防団活動計画（主なもの）

令和 4 年

- 4 月 10 日 ポンプ性能検査
- 5 月 29 日 操法訓練
- 6 月 19 日 水防訓練
- 7 月 9 日 解体建物を活用した警防基礎訓練
- 7 月 27 日 第 54 回神奈川県消防操法大会
- 9 月 11 日 新入団員研修
- 10 月 9 日 震災時の初動対応訓練
- 11 月 5 日 幸消防関係団体創立五十周年記念式典
- 11 月 27 日 防災倉庫の状況把握と機材の習熟
- 12 月 11 日 資機材点検整備技術習得
- 12 月 下旬 年末火災特別警備

令和 5 年

- 1 月 8 日 幸地区消防出初式
- 2 月 12 日 操法訓練

※通年行事 各種会議開催、車両・資器材の点検、応急手当普及員講習等



編集後記

幸消防団だより六十六号をお届けします。
発行に当たり、関係各位の御寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 高橋 克明
編集 幸消防団広報委員会
広報部長 西村 雅治
第 1 分団 菅 木 村
第 2 分団 堀 内 徹
第 3 分団 遠藤 盛
第 4 分団 菅原 幸恵
青木 真弓

消防団員募集

資格：幸区内在住、在勤の満 18 歳以上の健康な人

- ・特別職の公務員として活動中の負傷などは公務災害として補償されます。
- ・班長以上の階級に 3 年以上在職した団員は防火管理者の資格を得ることができます。



問い合わせ先：幸消防署予防課消防団・防災支援係

TEL：044-511-0119 FAX：044-544-0119